

今年誕生のコウノトリに 親しみある愛称を

～2羽の愛称を広く募集～

野田市は、今年生まれたコウノトリのヒナ2羽の愛称を募集する。

これまで放鳥したコウノトリが全国的に滞在していることから、市民に限らず幅広く多くの方に一般公募とする。自然再生（生物多様性）のシンボルであるコウノトリを身近に感じ、親しみを深めてもらい、国の特別天然記念物であるコウノトリに対する市の取り組みに理解と支援をいただきたいと考えている。

募集期間は、令和3年6月3日から6月25日までの23日間。

選考は2段階で行い、1次選考は公募の中から「コウノトリと共生する地域づくり推進協議会」で5点程度の愛称候補を選考する。最終選考は、1次選考で選ばれた愛称候補の中から、市内小学生による投票により得票順で決定し命名する。

市は、2羽のヒナに親しみのある愛称をつけることで、野田市生まれのコウノトリへの愛着を深めるとともに、認知度を高め、将来を担う子ども達に興味を持ってもらうことを期待している。

●愛称募集の概要

- 1 募集期間 令和3年6月3日（木）から6月25日（金）
（郵送の場合は、当日消印有効）
- 2 募集方法 一般公募
- 3 応募方法
性別が判明していないため、オス1点、メス1点の計2点まで募集
 - ・ヒナの愛称及び応募した愛称を思いついた理由
 - ・今回はカタカナ表記で募集（ひらがなとカタカナを交互に募集している）
 - ・はがき、電子メール、応募用紙で応募（一人1口）※詳細は、別添募集要項のとおり
- 4 選考方法
 - 一次選考：一般公募した愛称一覧から、事務局が重複や対象外を整理し、コウノトリと共生する地域づくり推進協議会委員に、1人5点程度選考してもらい、取りまとめの上、上位5点を選出。同点の場合は会長一任。
 - 最終選考：一次選考した愛称候補の中から、野田市内の小学生による投票にて、得票順に愛称を採用
- 5 発表
放鳥にあわせて発表
- 6 記念品等の配布
一次選考通過者に記念品を贈呈し、市内小学生には参加賞を贈呈する予定

● 2羽のヒナのふ化から現在の様子

令和3年5月2日 兵庫県立コウノトリの郷公園から卵を移送

令和3年5月3日 親鳥へ托卵

令和3年5月7日 2羽のふ化を確認

誕生した2羽のヒナの近況としては、いずれも元気な様子を見せており、飼育観察棟からコウくん、コウちゃんと2羽のヒナを見学することができる。

なお、順調に行けば、7月上旬に巣立ちを迎え、7月下旬から8月上旬には放鳥できる見込みである。

● 放鳥した8羽の最近の滞在状況

令和3年5月31日現在

未来 : 茨城県神栖市付近 (令和3年5月29日現在)

翔 : 茨城県神栖市付近

きずな : 宮城県川崎町付近 (令和3年5月8日現在)

ひかる : 栃木県小山市付近

ヤマト : 千葉県野田市付近

カズ : 千葉県野田市付近 (令和3年5月25日現在)

レイ : 栃木県小山市付近

たいよう : 茨城県坂東市付近 (令和3年5月28日現在)

※「未来」はGPSが不通となっている。「きずな」と「カズ」についてはGPSが外れていることを確認している。「たいよう」は最初からGPSを装着していない。

● 「コウノトリと共生する地域づくり推進協議会」の概要

○設立年月日 平成24年8月1日

○協議会設立の目的

野田市におけるコウノトリの安定的な生息が可能となる「自然と共生する地域づくり」、コウノトリをシンボルとした「地域振興」と「環境教育・環境学習」の推進を通し、地域の生物多様性の保存・再生・創造等に資することを目的とする。

○役員など

会長は野田市長が務め、各役員は農業や商工関係者、教育関係など多様な組織の委員で構成する。

問合せ＝みどりと水のまちづくり課・直通 04-7123-1195

代表 04-7125-1111 (内線 2692)

野 田 市